



日本医療マネジメント学会 News Letter

第95号 2024年6月1日発行
発行 特定非営利活動法人
日本医療マネジメント学会事務局
〒860-0806 熊本市中央区花畑町1-1
大樹生命熊本ビル3階
TEL 096-359-9099 FAX 096-359-1606
E-mail jhm@space.ocn.ne.jp
URL <http://jhm.umin.jp/>

第26回 日本医療マネジメント学会学術総会開催のお知らせ(第5報)

信頼と調和による医療マネジメント ～地域と共に質の高い、安全な医療をつくる～



第26回 日本医療マネジメント学会学術総会
会長 中房祐司
(福岡赤十字病院院長)

この度、第26回日本医療マネジメント学会学術総会を2024年6月21日(金)・22日(土)の2日間にわたり、福岡国際会議場・福岡サンパレス(福岡市)に於いて開催させていただくことになりました。福岡での開催は8年ぶり、3回目です。充実した学術総会となるよう鋭意準備を進めて参りました。

2020年以来、医療界はそれぞれの立場でコロナ対応に全力を尽くしてきました。昨年5月にコロナの法的取り扱いが変わり、約3年にわたって続いたパンデミックも社会的には一応の収束を迎えました。今回のパンデミックで日本医療の危機対応能力(サージキャパシティー)の乏しさが指摘されました。しかし、その中で私たち日本の医療界は様々な経験をし、多くのことを学びました。コロナ患者の入院受け入れ医療機関では、感染急拡大時に人員、病床等を柔軟に変更できる仕組みが必要でした。また、地域内のそれぞれの医療機関の役割分担を決めることや連携体制を構築すること、すなわち、地域医療マネジメントが大きな役割を果たしました。新興感染症を中心とする将来の医療逼迫への適切な対応のためにはコロナに関する総括が重要だと考えます。

さて、第26回学術総会では、テーマを「信頼と調和による医療マネジメント ～地域と共に質の高い、安全な医療をつくる～」と致しました。医療の質を高めること、患者の安全を守ることは、病院が信頼を得るために最も重要な要素です。この信頼に基づいて近隣の医療機関と連携をすることができます。当院としては地域の患者さんや医療者としてしっかりと信頼関係を築き、お互いに理解、協力し合いながら、より質の高い安全な医療を行う姿勢を大切にしたいと考えています。

メインシンポジウムは当学術総会のテーマに沿って「地域と共に質の高い、安全な医療をつくる」をタイトルとしました。病院と地域が協調しながら様々な形で医療の質や安全性を向上させる取組みについて4名の

先生方にご講演、ご討議いただきます。また、会長特別企画は予想以上の速さで人口減少が進む中、「地域医療構想の今後」としました。行政、公的・私的病院、大学病院、医師会等それぞれの立場から、これからの地域医療のあり方をご講演いただこうと思います。

本学術総会はクリティカルパス、医療安全、医療連携を三つの大きな柱としており、今回はこれらに関する教育講演5題、教育セミナー2セッションを設けております。さらに、スタートしたばかりの働き方改革、医療現場における実際のデジタルトランスフォーメーション(DX)、今後の新興感染症への対応など数多くの課題があり、これらを含むテーマにて合計20セッションのシンポジウムを設けました。その他様々な医療マネジメントに関する内容の一般演題約900題をご発表いただく予定です。ご参加の皆さまに役に立つプログラムをとこの思いを込めて構成致しました。

招待講演、特別講演には学術総会参加の皆さまにご興味を持っていただけるよう幅広い領域からそれぞれの分野で大変ご高名な先生方にご講演をお願い致しました。招待講演として、太宰府天満宮最高顧問の西高辻 信良氏に「天神の杜に生きて」、大阪大学の竹文雄氏に「医療現場の行動経済学」、東京大学の西成活裕氏に「医療マネジメントと渋滞学」のご講演をお願い致しております。また、特別講演として、産業技術総合研究所の持丸正明氏に「人間拡張技術による医療DX」、結核予防会の尾身 茂氏に「新型コロナ これまで、これから」、厚生労働省の内山博之氏には行政の立場から「医療DXの取組」のご講演をいただきます。

市民公開講座には、東京海洋大学客員教授のさかなクンをお招きしております。「さかなクンのギョギョッとびっくりお魚の話」というタイトルにて大人から子供まで一般市民の方々に楽しく理解しやすいお話をさせていただく予定です。

福岡は食文化の街です。玄界灘の海の幸、水炊き、もつ鍋、博多ラーメン、辛子明太子などいくつもの名物がありますので、学術総会の合間にお楽しみいただきたいと思います。また、学術総会終了後の土、日曜日を利用して福岡を起点とする九州の旅などを計画いただければと考えております。多くの皆さまのご参加をお待ち致しております。